



有限会社木嶋水産 SDGs宣言

当社は、「群青に輝く宇和海で獲れた良質で、新鮮な海の幸を多くのお客様に届けたい」との経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決、および持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2024年3月13日

有限会社木嶋水産
代表取締役 木嶋 一誠



重点項目(ターゲット2030)

新鮮で良質な海産物を全国へ

自社船で漁獲したしらすを水揚げ直後に加工するなど、新鮮で良質な海産物を全国にお届けし、水産業の発展に貢献します。

【主な取り組み】

漁獲・加工・販売の自社一貫体制、鮮度・品質管理の向上、食品衛生管理の徹底、ECサイト販売による全国展開



地域社会への貢献

地元学生向けの職場体験や寄附講座を通じて、海洋資源の大切さや地場産業への理解を深めてもらい、地域社会の持続的な発展に貢献します。

【主な取り組み】

小中高生向け職場体験プログラムの実施、寄附講座「えひめ子ども観光大使」の提供、地域行事への参加



風通しの良い職場づくり

年齢・性別を問わず多様な人材が活躍し、活気ある風通しのよい職場を目指します。また、資格取得の支援や水産技術の継承に努め、未来を担う人材育成に取り組めます。

【主な取り組み】

シニア層の継続雇用、社員とのコミュニケーション活性化、能力開発・資格取得の支援、ベテランから若手への技術伝承



海洋保全への取り組み

海洋資源の保全に配慮し、省エネ設備や污水浄化設備の導入により環境負荷の軽減に努め、海の豊かさとの共存共栄を目指します。

【主な取り組み】

禁漁期間の設定、環境に配慮した塗料・漁網の使用、ろ過装置を利用した排水、省エネ設備の導入、フードロスの削減



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。